※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	高等学校　改訂版　日本史Ａ　人・くらし・未来（第一学習社）						
副教材等	日本史のライブラリー（東京法令）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・単語の暗記ではなく、歴史的事実に対して「なぜ」という疑問の視点を持ち、考える。
・歴史的事実に関する因果関係を理解し、その歴史的事実が現在とどのように関わっているのかを考える。
・講義形式だけでなく、自ら考え、発言できるような授業形態をとる。
・様々な資料の読み取りを積極的に行う。

２　学習の到達目標

近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・レポート課題 ・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・定期考査(論述問題) ・授業での発言・発表 ・課題の成果	・定期考査 ・レポート課題 ・課題への取組状況	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期（後期）	第1章　近代国家の形成と国際関係の推移	・近代への胎動 ・開国と幕末の動乱	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:列強の進出にて幕府の鎖国政策が動揺を深めていく経過を考察し、封建的国家が克服され、統一的国家が形成されたことに注目し関心を高めたか。 b:天保期を中心に幕府や諸藩の諸政策を考察し、外国の圧力や国内の民衆の動向と関連させて考察できたか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたか。 d:日米和親条約と日米修好通商条約による経済の変化が幕末に影響を与えたことを理解できたか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・近代国家の形成 ・国際関係の推移と近代産業の発展	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:日清戦争や日露戦争が開戦に至った背景を、当時の世界情勢に着目しながら考察できたか。 b:藩閥・政党・軍部・官僚・元老の関わりの中から、立憲政治の特徴を考察できたか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたか。 d:日露戦争における日本の勝利がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激したことを理解できたか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	第2章　両大戦をめぐる国際情勢	・第一次世界大戦と日本	○	○	○	○	a:政党政治の展開から、ワシントン体制、軍部の台頭までの過程を考察し、関心を高めたか。 b:日本が中国への侵略を進めた経緯を学び、日本と中国や欧米列強との関係に影響を与えたことについて考察できたか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたか。 d:政党政治の展開から、ワシントン体制、軍部の台頭までの過程を理解できたか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・第二次世界大戦と日本	○	○	○	○	a:満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の国際的孤立の過程について、国内外の対応に関心を持てたか。 b:山東出兵や統帥権干犯問題など軍部の政治的進出を背景に、協調外交から積極外交へと転換していく過程を考察できたか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたか。 d:国際関係の変化と国内問題との関連性に着目しながら、国民の生活はどのように変化したのかを理解し、その知識を身につけたか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	第3章　現代の日本と世界	・日本の再出発	○	○	○	○	a:第二次世界大戦の敗北から占領期を経て、現在の世界の中で日本がどのように位置しているのかを考察し、それについて関心を高めたか。 b:サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義と、日米安全保障条約の締結の意義を考察できたか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたか。 d:日本国憲法が制定された経緯と意味を考察し、理解することができたか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・独立後の政治と経済の発展 ・ 現代の日本と世界	○	○	○	○	a:テロに対する日本政府の基本姿勢や地球環境問題に対して、日本国民としての自覚をもって取り組めたか。 b:５５年体制により安定した保守政権が成立した意義を考察し、バブル経済などの経済状況も取り上げ、考察できたか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたか。 d:冷戦終結の後も、世界各地で民族紛争や宗教対立に起因する武力紛争が頻発した状況と、日本の貢献について理解できたか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。